

参加
無料

企業価値を高める 地域貢献戦略

～人と地域をつなぐミドルシニアの活躍と協同労働について～

地域課題の解決や地域貢献に向けた取組みは、企業にとって単なる社会的責任にとどまらず、新たなビジネスチャンスの創出や企業価値の向上につながる重要な戦略となっています。

本講演では、日本総合研究所創発戦略センターの小島明子さんをお迎えし、地域共生社会の実現に向けた企業の役割と、ミドルシニア層の活躍を軸にした人材戦略のヒントをお届けします。

また、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団高成田健さんによる、広島市で行われている協同労働インターンシップ事業等の取組みについての事例紹介も行われます。

ミドルシニア層のリスキリングや地域での活躍は、企業にとって人材の新たな可能性を開くと同時に、従業員自身のWell-being向上にも寄与します。CSRを進化させ、地域と企業がともに成長できる取組みについて一緒に考えてみませんか。



小島明子さん

日時：**12月22日（月） 13:30～15:00**

場所：**東広島市役所会議室303**

（東広島市西条栄町8-29）

定員：**20名程度**

・オンライン同時配信も実施



お申し込みは
こちら

主催：東広島市地域共生推進課

お問合せ：082-493-5621 hgh200932@city.higashihiroshima.lg.jp

企業価値を高める地域貢献戦略

～人と地域をつなぐミドルシニアの活躍と協同労働について～

我が国では、50歳以上の労働人口が全体の約40%を占め、今後も増加が見込まれています。この層は、豊富な経験と専門性を持ちながら、定年後のキャリアや社会参加に不安を抱えるケースも少なくありません。企業がミドルシニアのリスクリングを支援し、地域での活躍機会を創出することは、従業員のWell-being向上に直結し、離職防止や人材活用の最適化にもつながります。

また、地域課題の解決は、企業にとって新しい市場を開く可能性を秘めています。高齢化、子育て、環境、防災など、地域が抱える課題は多様であり、そこに企業の技術やノウハウを活かすことで、社会的価値と経済的価値を両立する「CSV（Creating Shared Value）」の実現が可能です。地域連携プロジェクトを推進する企業の約6割が、新規事業やサービス開発に結びついたとの報告もあります。

本講演では「**企業が地域貢献に取り組むことで得られる具体的なメリット**」「**ミドルシニア人材の活躍を促すリスクリングの最新動向**」「**協同労働による企業と地域の協働モデル**」について、事例を交えながら分かりやすく解説します。

地域と企業がともに成長する未来を描くとともに、新たなCSR戦略を考える絶好の機会です。ぜひご参加ください。

基調講演：小島明子さん

（日本総合研究所創発戦略センタースペシャリスト）

プロフィール：民間金融機関を経て、2001年に株式会社日本総合研究所に入社。協同労働やミドル・シニアのキャリアに関する調査研究に従事。東京都公益認定等審議会委員。東京都地方独立行政法人評価委員会公立大学分科会委員。著書に『中高年男性の働き方の未来』『女性と定年』（ともに金融財政事情研究会）、『定年がなくなる時代のシニア雇用の設計図』（共著、日本経済新聞出版）、『協同労働入門』（共著、経営書院）等。



小島明子さん

事例紹介：高成田健さん

（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
山陰山陽事業本部長）

プロフィール：1997年3月青山学院大学経済学部卒業後、ワーカーズコープ・センター事業団に入団。子ども、高齢者、障がい者、ニートひきこもりの若者、生活困窮者など多様なケアの仕事づくり、また就労支援など共にはたらく仕事おこしを当事者・地域・行政などと推進。日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会事務局長などを経て、2025年4月より山陰山陽事業本部長（広島市協同労働支援センター統括コーディネーター兼任）に就任。『協同で仕事をおこすということ』（コモンズ出版、2011年、寄稿）



高成田健さん